

## 修学旅行に向けて

季節の変わり目の不安定な空模様となりましたが、来年の修学旅行に向けて、金沢班別自主プランを実施しました。色々な行事がある中、時間的に厳しい面もありましたが、班づくりからプラン作成まで協力して行う姿が見られました。自主プラン当日。朝の渋滞や乗り慣れない公共バスで各集合時刻に遅れそうになり慌てる姿もありましたが、何とか間に合わせようと頭をつかうことが来年に向けてのいい学習になったと思っています。

先月の運動会を成功させ、今月は後期がスタートし、文化発表会・合唱コンクールなど各学級で協力して参加する行事が予定されています。10月6日を機に、2年生後期の学校生活が始まりました。新しいリーダーたちを中心に学校生活をより充実させ、最上級生になっていく姿を期待したいと思います。

観光客や外国人がいっぱいて、やっぱり金沢って人気だと思ってたし、高いビルもいっぱい建っていて、中心部は都会だと思った。また多くの観光地が密集していて、回りがやすかった。一番興味深かったのは妙立寺の複雑な構造で、建てられた経緯も知れてとてもおもしろかった。(1組 児嶋桃李さん)

最初は時間通りに次の場所へ行けるか不安だったけど、時間を見て見学や体験場所に行けた。自主プランでは最初のプラン作りがとても大切だと分かった。インタビューでは座っている人に声をかけたらすごく優しく接してくれて、金沢は思いやりの気持ちがある場所だと改めて思った。(2組 木村日南さん)

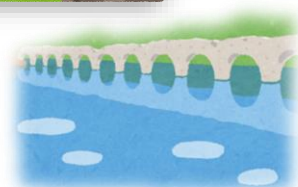
私はプランを立てる時の時間をもっと注意すればよかったなと思いました。私たちの班は神社へ行き、21美辺りを見てからずっとひがし茶屋街にいることになってしまい、少しもったいない時間を過ごしました。だから修学旅行では、もう少し欲張り、時間を有効につかえるような計画を立てたいです。

(3組 高橋花菜さん)



野村家に入った時に、エアコンもないのに少し涼しいような気がしました。スタッフの方に木造の建物の良さについて質問すると、「木の建物は涼しい」とおっしゃっていたので、インターネットではわからない情報を聞けてよかった。(4組 中川倖乃さん)

今回の金沢自主プランでの学習内容は、各クラス内で構成した班ごとに「金沢いいじ〜プラン」という形で、SDGsと関連させたツアープランの掲示物にまとめ、文化発表会の際に展示されます。また、学年発表会でプレゼンテーションも行うことになっています。11月の授業参観時にも学年掲示する予定です。



後期学級役員のみなさんです！

	会 長	副会長	書	記
1 組	岩田 藍	橋 ももこ	漆尾 悌誠	仲谷 りあ
2 組	高田 仁	森 玲菜	木村 日南	珠久 慧大
3 組	宮本 太陽	紺野 眞衣	橋本 紬希	山際 煌晴
4 組	杉本 明優	嶺藤 心花	中山加奈子	野村 怜央

後期の学年の「顔」です！よろしくお願いします。

## 合唱コンクールに向けて

10月24日（金）の合唱コンクール発表順が決まりました。どのクラスも思い出に残る合唱に仕上げてほしいものです。短い期間ですが、これから練習期間が始まります。各クラスの合唱リーダーから意気込みを聞きました。

### ① 2組

「虹」

2年2組の目標は「トロフィーゲットだぜ!!」です。感情を込めてみなさんを感動させます。美しいハーモニーをお聴きください。（森 玲菜さん）

### ② 4組

「COSMOS」

みんなで協力し、思い出に残る合唱にできるように、みんなで課題点を見つけ、より良くなるアイデアを考えたりしてがんばります!!（嶺藤心花さん）

### ③ 3組

「旅立ちの時～Asian Dream Song～」

目標はクラス全体で一致団結！練習からマックスで最優秀賞をとれるように頑張ります。全員で一生懸命楽しみたいです。（川野光志朗さん）

### ④ 1組

「絆」

僕は初めてリーダーという役割にチャレンジしました。力不足なところもありますが全力を出すので、皆で最優秀賞を目指しましょう。（小塚奏太郎さん）

## 中学2年後期 = 「中学校生活の後半」

ちょうど1年半前。中学生としての新生活にわくわくしながら、4階の教室で一斉に3年間の中学校生活のスタートを切りました。それから今日まで色々な経験をしてきたと思います。それらを通して、一人ひとりがそれぞれに目指す「ゴール（目標）」を作っていると思います。前進する速度も距離も、一人ひとりそれぞれ違うと思いますが、あと1年半後には全員が中学校生活のゴール（卒業）を迎えます。あなたの思い描く1年半後のゴール（自分自身）はどんな姿ですか。笑っていますか。泣いていますか。喜んでいますか。がっかりしていますか。そして、1年半後に新しく切るスタートはどうしたいですか。そのスタートは今あなたの隣にいる人とは違っているはず。中学校生活の折り返し地点に立つ「今」だからこそ、自分自身をしっかりと見つめ、1年半後に向かう一歩をまた踏み出しましょう。

